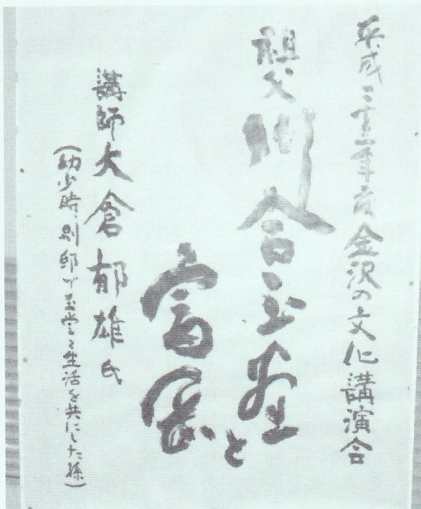
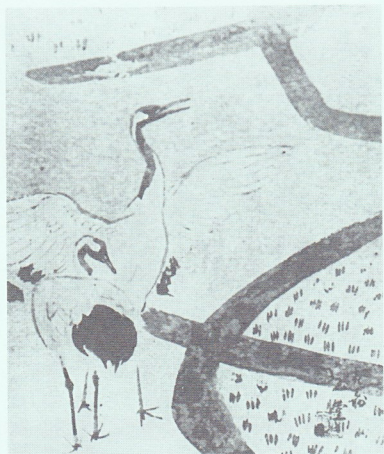
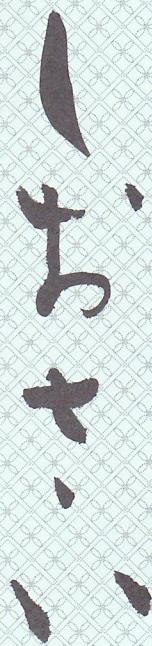


文化講演会

祖父・川合玉堂と富岡



NPO法人 横浜金沢文化協会会報



NPO法人
横浜金沢文化協会
編集人 野中 建吾
☎ 781-5044
発行人 後藤 政也
理事 長 幸栄印刷(株)
☎ 716-3366

今回の文化講演会は、お孫さんが祖父を語るという非常に珍しいケースの講演会で、前評判も上々でした。当初は、平成23年3月19日に開催の予定でしたが、3月11日に発生した東日本大震災のため、約半年後の10月15日(土)に、金沢公会堂にて開催されました。

川合玉堂画伯は明治・大正・昭和を代表する日本画の大巨匠で、昭和15年に文化勲章を受章しております。

講師の大倉郁雄先生は、舞台の大スクリーンに写真をふんだんに映しながら観客に分かり易く講演されました。中でも圧巻は、田圃に降り立った二羽の鶴の絵です(写真参照)。玉堂画伯77歳の喜寿の祝いを現したそうです。これは身内でなければ知りえない表現で、田圃の畦が「七」を、二羽の鶴が「十」をそしてもう一つの田圃の畦が「七」を現し、合わせて「七十七」となるのです。また大倉先生は小さい頃、旧川合玉堂別邸で画伯と共に生活しておられ、地元「富岡」のことも、詳しく興味深くかつ格調高く色々とお話しなされ、あっという間に持ち時間の2時間が過ぎてしまいました。

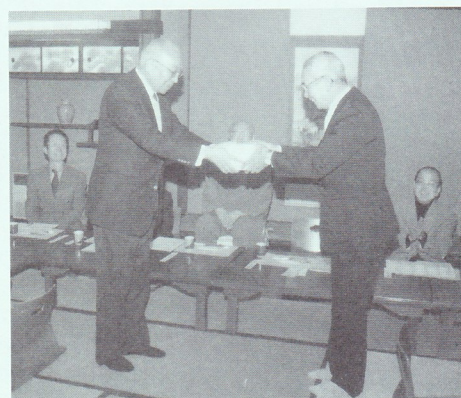


故・木村隆男顧問 逝去哀悼

横浜備前焼の祖にしてNPO法人横浜金沢文化協会顧問・木村隆男氏が3月1日、ご逝去されました。享年81歳。
ここに謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。
NPO法人横浜金沢文化協会一同 合掌

当協会賛助会員・「植周造園」当主の大胡周一郎氏は、昨年11月、現代の名工150人の一人に選ばれ、1月5日には金沢区賀詞交歓会の席上にて晴れて金沢区民栄誉賞を受賞されました。これを祝い、1月16日金沢園で行われた横浜金沢文化協会役員会後の新年会にお招きして、受賞記念として、横浜備前焼の木村隆男氏より寄贈された酒器を、当協会から同氏に贈呈しました。大胡氏は、代々、旧川合玉堂別邸の造園・手入れ・修復等に携わるとともに、当協会とも関わりの深い賛助会員です。この日の新年会では、木村氏も同席し、役員ともども大胡氏の栄誉を称えました。

賛助会員の朗報 区民栄誉賞の 大胡氏へ記念品贈呈



「横浜金沢を詠う」 平成23年度前期俳句・短歌表彰式



横浜金沢俳句・短歌ボスト実行委員会主催の「俳句短歌ボスト制度」の第6回(平成23年度前半期)表彰式が10月31日(月)、金沢区民活動センターにて行われました。
次に被表彰作品を紹介します。

【俳句の部】

☆横浜金沢区長賞

(天位) 水掛けて灼くる海へと祇園舟
埼玉県蔵市中央 佐藤十三夫

(地位) 我が街は海と花火と称名寺
金沢区金利谷南 橋場 美篤

☆横浜金沢俳句・短歌ボスト実行委員会会長賞

(天位) 轉りの森を背負へる称名寺
瀬谷区阿久和東 根本 幸雄

(地位) 夏だからジンベイザメと泳ぎたい
磯子区洋光台 (小生設楽 竜平

☆横浜金沢文化協会理事長賞

(天位) 船頭は日焼けの老いや祇園舟
藤沢市辻堂 高野 尚志

(地位) 阿字ヶ池さざ波立てて初蛙
栄区本郷台 秋元 孝之

☆横浜金沢観光協会会長賞

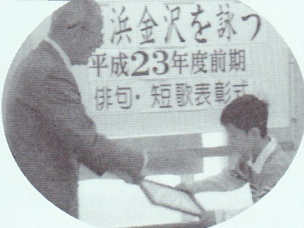
(天位) 琵琶島の松が夏呼ぶ波を呼ぶ
金沢区金利谷西 鏡 保太郎

(地位) 亡き主の一幅懸る庵涼し
葉山町長柄 可知 久子

☆横浜金澤シテイガイド協会理事長賞

(天位) 五丁櫓の艦網を解き夏越祭
戸塚区南舞岡 松崎 邦子

(地位) 玉堂邸鳥語降り来る新樹光
金沢区西柴 中野たか江



【短歌の部】

☆横浜金沢区長賞

(天位) 軒先を彩る梅に心弾み
称名寺までの坂道上る

(地位) 船乗りと見紛ふほどに日焼けして
海の香立たすライフセーバー
金沢区六浦南 岩澤 正春

☆横浜金沢俳句・短歌ボスト実行委員会会長賞

(天位) 木喰の大黒天が笑みかくる
牡丹まつりに筆やぐ寺に
金沢区金利谷東 秦 正子

(地位) やなぎくら そよかぜにまい
はるはこぶ べににそまれる
はるのそらかな
金沢区富岡東 (小生門脇 琴未

☆横浜金沢文化協会理事長賞

(天位) 西柴の家並みの空で鶯たちが
海は荒れしと陸にて遊ぶ
金沢区西柴 内藤 和子

(地位) 年ごとに牡丹は増えて
寺庭を浄土と思ふ佛るませば
金沢区州崎町 磯崎 百合

☆横浜金沢観光協会会長賞

(天位) 武士の襷し海や遠のきて
福石かわき車道に向き立つ
金沢区泥亀 米長百合子

(地位) 風やみて波の音さえひそやかに
野鳥にあがる弓張りの月
金沢区片吹 赤羽 康夫

☆横浜金澤シテイガイド協会理事長賞

(天位) 遠花火音遅れ来る涼しさよ
八景島はビルの谷間に
金沢区能見台東 竹内 恵子

(地位) 八景島べりい艦隊碇泊の
白き記念碑燦然と立つ
金沢区東朝比奈 津田美奈子

文芸部活動報告

☆金沢区民俳句(吟行)大会結果☆

金沢俳句会では10月30日(日)、25人の俳句愛好者を集めて、野島公園にて吟行した後、横浜市野島青少年研修センターにて第12回「金沢区民俳句(吟行)大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

- 津田美奈子 一帆を沖に置きたる菊日和一
- 北野 一清 釣り上ぐる糸のしづくや薫の秋
- 黒川 謹司 紅葉忌明治の匂ふ博文邸
- 大川 一馬 売店主はウクレレ弾くや秋麗
- 千葉 将行 釣船は期待を乗せて秋日和
- 小幡 友子 秋草を活けてもてなす博文邸
- 小侯 悦男 行く船は微かな秋陽追ひかけし
- 惣野 圭子 行く秋や明治いきづく博文邸
- 田中 十九 爽籟や聞ひっそりと掩体壕

☆金沢区民短歌(秋季)大会結果☆

金沢区民歌人会では10月22日(土)、八景コミュニケーションハウスに26人の短歌愛好者を集めて、「金沢区民短歌(秋季)大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

- 市川 定子 み墓への径辺の赫き曼珠沙華
- 光岡コト子 共に歩みし夫遙かなり
- 佐野とめる 衣に夏の熱気をまよふ
- 酒井 治子 小廉を得たる息子と旅に出る
- 秦 正子 芳るつもりがいたわられつつ
- 草柳 繁一 寡黙なる夫の幾度も涙ぐむ
- 室田 栄吉 なでしこ戦をくり返し見て
- 「福島産」を迷はず求む
- 空間と時間の中に我ありて可もなく
- 不可もなし月を見上ぐる
- 扇風機一斉に首を振りをり

第23回 金沢区民文化祭

第23回金沢区民文化祭は、平成23年10月12日から12月11日までの間、金沢区民文化祭実行委員会主催、金沢区役所共催、NPO法人横浜金沢文化協会後援により、次の通り9行事が実施されました。



☆区民の作品展☆

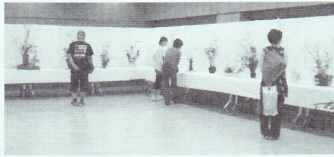
10月12日(水)～16日(日) 金沢地区センター体育館

不特定多数の区民及び区に関係のある人たちから公募した各文化部門の作品を一堂に揃えた楽しい展示会です。作品部門は、絵画一般(油彩・水彩・水墨・その他)・写真・書道・文芸(俳句・短歌)・手工芸・陶器となっております。会場入口には、金沢華道会による巨大な作品が飾られ、華を添えました。今回は、出展者数が約250人、入場者数が約1400人と、盛況裡に推移しました。なお同時に、区内小・中学生の作品展も開催しましたが、出展した生徒の親族・友人・関係者らの来場により賑わい好評でした。次回も、皆さんの奮っての応募を期待しております。



☆華道展☆ 金沢華道会 10月15日(土)～16日(日) 金沢地区センター2階大会議室

金沢地区センター2階の大会議室で、各流派の先生とお弟子さんの日頃の成果を発表しました。伝統文化である「生け花」は、古典から現代まで、それぞれの時代の人々によって発展を為し遂げて来ました。現代は、花材も輸入物・温室物など豊富で、色々な取合せで好みの作品が出来上がり、楽しい仕事と言えます。また「区民の作品展」会場では、大作のウェルカム花が皆様を迎えました。

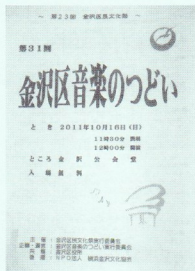


☆お茶会☆ 金沢茶道会 10月16日(日) 金沢地区センター2階和室・ロビー

金沢地区センター2階の、和室では表千家の、ロビーでは、裏千家の、それぞれの席主の方々により、「和の心」を大切にしてお菓子を選んでお茶を点て、一服の静かな一時を過ぎて頂きました。私たち金沢茶道会は、多くの区民の方々に、「お茶は楽しいもの」ということを伝え、お茶に親しんで頂こうと、努めております。



☆金沢区音楽のつどい☆ 金沢区音楽のつどい実行委員会 10月16日(日) 金沢公会堂



金沢区内外で活躍している音楽団体が、区民音楽文化の向上と相互の親睦を図ることを目的とし、年に一度、一堂に会して日頃の練習の成果を発表しています。フィナーレに、「かなざわの四季」を、プログラム最後の出演団体が担当し、会場の皆様と一緒に歌い、今年も立ち見が出るほどの盛況裡に終了しました。

☆吟と舞の祭典☆

金沢区吟剣詩舞道連盟 10月29日(土) 金沢公会堂

プログラムの最初は、「金沢八景詩」で、8つの会派が分担して詠い、次に吟詠独吟・合吟・剣詩舞と続きました。また毎回大会を盛り上げる特別構成番組は、「麗しき相模の大地」で、万葉集・古事記より「相模の古歌」を6編と「古都鎌倉・江ノ島・城ヶ島」等総数が実に23編の吟詠と剣詩舞でした。今年もチャリティーを行い、善意の多額の寄付金を金沢区社会福祉協議会へ贈呈しました。



☆金沢三曲演奏会☆

金沢三曲会 11月3日(木・祝) 金沢公会堂

今回の金沢三曲演奏会は、尺八本曲(ほんきょく)の合奏に始まり、古典の箏・三絃・尺八の三曲合奏、そして平成生まれの最新の現代曲まで、バラエティーに富んだ内容でした。秋の一日、伝統的和楽器の奏でる音色を区民の皆様楽しんで頂きました。さて、次回の三曲演奏会では、横浜金沢の海と杜(もり)をテーマに委嘱した曲を初演します。是非お出かけください。



☆金沢シンフォニカプロムナードコンサート☆ 横浜金沢交響楽団 11月13日(日) 金沢公会堂

「地域に根差し魅力ある音楽」を目指して活動している金沢シンフォニカ(横浜金沢交響楽団)の演奏会。曲や楽器解説を交え、「美しき青きドナウ」等聞き馴染みのあるクラシック音楽を披露しました。第2部では、観客から希望者を募り小学生から60代の5名がベートーヴェンの「運命」を指揮するコーナーもあり、にわか指揮者の熱演に満席の会場が沸きました。アンコールに、「金沢の四季」も演奏され、奏者と観客が一体となった演奏会は大盛会でした。



☆金沢区日本舞踊連盟公演☆ 金沢区日本舞踊連盟 12月4日(日) 金沢公会堂

伝統文化である日本舞踊を区民の皆様伝えるため、金沢区日本舞踊連盟は毎年12月に金沢公会堂で公演を行っており、今年で17回を迎えます。昨年の公演の際も、多くの方々のご来場を頂き、素晴らしい舞台でした。「来年も楽しみにしています」などの嬉しい言葉をたくさん頂きました。衣装・かつら・大道具・小道具等に心配りをし、今後とも区民の皆様が楽しみ喜んで下さる舞台を心掛けて行くつもりです。



☆金沢区小・中学校音楽祭☆ 金沢区小・中学校音楽祭実行委員会 12月11日(日) 金沢公会堂

文化祭最後のイベントは、六浦小学校の華やかなお琴で開演。富岡小学校、能見台南小学校は美しい合唱を披露。小田中学校のジャズバンドは懐かしいスタンダード曲。金沢中学校の20台に及ぶ木琴は小気味良い迫力を、弦楽部は繊細な響きを伝え、最後に関東学院中・高生は力強く「頑張ろう日本!!」の心を込めた吹奏楽で魅了してくれました。会場全体で「YELL」も歌い終演となりました。



横浜並木男声合唱団

～過去・現在・未来～



当合唱団は、発足以来18年になりますが、当初は23人でスタートした普通の合唱団でした。ところが発足3年目に、指揮者が現在の吉田千鶴子先生に替わってから、その独特な指導により徐々に変化・進化して行きました。歌って踊れる合唱団としてパフォーマンスを取り入れ始めたところ、観客の反応と声援が顕著に変わって来たのです。演奏会の度に、応援してくれる方たちが増え、MMホールが満員になるまでに成長しました。NHKで私たちの活躍ぶりが

紹介されてからは、新聞・ラジオ・テレビ等の取材が多くなり、定期演奏会への練習が遅れ気味になるなどの嬉しい悲鳴を上げています。なお、定期演奏会は、原則として2年に1回ですので、昨年はありませんでしたが、第8回目を数える定期演奏会は、今年11月24日(土)に、MMホールで開催します。当日は、46人に増えた「おじさんパワー」全開で、歌と踊りを披露いたします。乞うご期待!



KANASUI クリスマス チャリティー・コンサート



すっかりお馴染みの「KANASUIクリスマス・チャリティー・コンサート」。皆様の善意とご声援に助けられ、10年を迎えることが出来ました。2002年の第1回から、金沢区内の障害者の皆様に支援する目的で始めたこのコンサート。チャリティー総額が、952,203円になったことを、ここにご報告するとともに、長期にわたる皆様の善意に心から感謝申し上げます。今回は11月20日、金沢公会堂で、一足早いクリスマスの皆様と一緒に楽しみました。11月のクリスマス・コンサート?実は、KANASUIが金沢区に生まれたのが、丁度「50年前の11月」と言うことで、メリークリスマスとハッピーバースデーKANASUIと一緒に祝おう、と言う斬新な企画。「11月のクリスマスなんてピンと来ないんじゃない」との心配もありましたが、細かいこと言わない!気分が良く時代を先取りするのが浜っこ気質!と、陳列されたばかりのクリスマスの飾付けを買占めて本番に臨んだところ、何と大勢のお客様!どこよりも早いと言うのは気持ちの良いもの。使った飾付けは自宅で再利用できるし、何よりも11月から12月までの1か月間、クリスマス気分で居られると言うお得なコンサートでした。今年も11月にしようかと、真剣に考えているのは、KANASUIのメンバーが、お祭り好きだからですかね。



サートにしたいというコンセプトにそって、皆様楽しんで頂けるよう構成を練っています。前記3人の企画委員及び大勢の関係者からのご奉仕・ご尽力を賜り、2回目以降はチャリティーとして、今年で11年目になります。このコンサートに思いを寄せ、楽しみに足を運んで下さるお客様には心から感謝致しております。お客様と音楽を分かち合う瞬間を宝のように大切に、音楽を通じて、暖かい心の交流の場を作って行けたらと切望しております。



「金沢スプリングコンサート」は、2003年春、市会議員の小幡正雄様、和田大雅様、浅野賢一様のご発案で始まりました。日本の童謡唱歌、懐かしい歌を絶やすことのないように歌い続けて行きたいとの思いから企画されたのです。お客様と歌手が一緒になって歌えるような参加型のコンサートにそって、皆様

金沢スプリングコンサート

伊藤博文公別邸のボランティア除草活動



11月14日(月)、晴天の下、穏やかな青い海を臨む旧伊藤博文公別邸において、協力会主催による草取り清掃活動に、横浜金沢文化協会をはじめ横浜金澤シティガイド協会、金沢街づくりの会、金沢八景の自然と史跡を守る会の会員と地元の人々が、ボランティア参加しました。日頃は、野島公園事務所の方々が大きな雑草の除去に当たっておられるので、当日は、庭園と牡丹園の細かい雑草取りと清掃に精を出しました。海浜の別邸での除草活動は、和やかなそして爽快な気分と雰囲気にと終始しました。今後も年に2回、ボランティア除草活動を行うことを約束して散会しました。

第19回 金沢歌謡祭

第19回金沢歌謡祭は、横浜金沢文化協会の後援を得て、平成23年10月10日、金沢公会堂で開催されました。まずは、金沢区清田幸子様が心を込めて歌われた「女のしぐれ酒」に会場は静まり返り、続いて遠方から参加された吉野千恵子様の「女の真実」、寺島あきら様の「北へ流れて」、千葉良様の「望郷新相馬」「芭蕉布」、高橋豊太様の「ほうらい船祭」「月冴えて」で会場が盛り上がりました。横須賀の表義信様は「献身」「ハートブレイクダンディー」を歌い、歌手として活躍中の田中武久先生は「夢のかげら」「愛はかたちか」を、南川翔先生は「ほたる海峡」「哀愁ターミナル」を歌い本領を發揮しました。小杉山茂様は「御免よかんべんな」「とちりり流し」で実力を発揮し、会場が一段と賑やかになり、「次の20回が楽しみ!」「頑張らなくてはい!」との声が聞かれて、盛会裏に終わりました。



旧川合玉堂別邸の紅葉狩り特別開園

富岡の旧川合玉堂別邸で12月10日(土)、「紅葉狩り」特別開園が行われました。同邸庭園は北風が遮られ暖かいせいも、紅葉が半月ほど遅れて、丁度見頃となり、来園者は1172人と大盛況でした。同邸は大正初期に建築され、家屋・庭園とも当時のままの姿が維持されており、庭園は表門から玄関までの部分は人工的に作られていますが、その他は雑木林が主体の自然的空間で、大きい庭木の間から楓等の紅葉を覗き見るといふ具合で、茅葺屋根の主屋を背景とする紅葉は、佐び寂びの心を味わう風景とも言えます。庭園には、紅梅と白梅、椿及び躑躅等の花木もあります。秋の燃えるような紅葉は、玉堂邸の庭園を代表する風景と言えます。

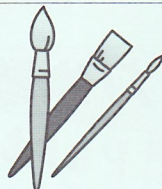


第25回記念

金沢区書道協会展

第25回記念「金沢書道協会展」は、平成23年10月12日(水)〜18日(火)の間、磯子区民文化ギャラリーで開催されました。会場へ入ると、縦・横はあるものの、同じ大きさの額が並んでいるのに驚きました。これが、25回記念、節目の目玉だと直ぐに分かりました。端正な楷書、躍動する行・草書、流れるようなゆかしい仮名文字そして近代詩文のモダンな字形、一つひとつの作品が素敵なエンターテイナーで、周りの作品と調和しながら多彩な個性を競っていました。書道作品の鑑賞は、日本人を再認識させてくれます。今年は、同じ場所、7月4日(水)〜9日(月)の日程で「第26回金沢書道協会展」が開催されます。とても楽しみです。

第4回 金沢区美術展と新春小品展



第4回金沢区美術展を、11月19日〜23日まで能見台地区センター体育館で、金沢区役所・能見台地区センター・横浜金沢文化協会の後援を得て開催しました。会員及び一般区民から公募した水彩・油彩・水墨画をはじめ日本画・パステル・絵画・彫刻・デッサン等多彩な作品計147点が展示され、1443人の皆様が来展され、盛会裏に終わりました。エピソードを一つ。展示会最終日の作品撤去の際、体育館でトレーニングをしていた小学校高学年の数人が、撤去の手伝いをしてくれましたが、その優しさに深く頭が下がりました。尚、新春小品展を1月5日から28日まで、区民活動センターにて、一期と二期に分けて開催しました。一期では、秋の妙義山スケッチ会に参加した会員・一般区民の力作22点、二期では、日ごろ会員が風景静物等を自由に表現した作品26点を展示しました。

会員の個展鑑賞記

「水辺の四季」写真展

—木村路子個展—

横浜金沢文化協会会員の木村路子さんの「水辺の四季」と題する写真展(個展)が昨年9月16日(金)~20日(火)の間、君ヶ崎交差点近くの「ギャラリー・ヨコミソ」にて開催されました。同女史が生涯を通して日本全国の水辺で「水の綺羅」を撮影した集大成の作品約30点が、清々しく展示され、見る人を魅了し、そして大きな感銘を与えました。展示作品の中には、神奈川二科で優秀賞を獲得した「親舟楽園(山中湖)」や六本木の富士フィルム・アマテラスに入選した「ダイヤモンド富士」「ケアラシの中」「朝もや」の3点など。その他、静かな華やぎの「源流の秋(裏磐梯)」・黄金色満つ「春らんまん(マザー牧場)」等々。猛烈な残暑の炎天から当ギャラリーに一步入るや、清々しい「水辺の四季」の名作に囲まれて、心身ともに涼しく爽やかな気分になりました。同女史の益々の発展を心に折りつつ、ギャラリーから炎暑の街へ、後ろ髪を引かれる思いで出たものです。



金沢茶道会は、本年2月4日、金沢自然公園において、金沢自然公園主催・金沢茶道会協力による「梅見茶会」を開催しました。今年は厳しい冷え込みと雨不足で、梅の開花が遅れていましたが、幸いにもほころび始め、大勢の方が見えられました。昨年からは立礼席のほか、体験コーナーを設けましたが、これには親子連れ・友達同士・カップル等が参加し、思い思いに、茶筌を振り抹茶を味わっていました。今回は、自然公園のスタッフが琴の演奏を披露し、茶会も一層盛り上がり、お客様は春の気分を満喫しておりました。

梅見茶会
金沢自然公園にて

金沢華道会の 生け花展示活動

美しい日本の伝統文化である生け花を、金沢華道会は、次の会場にて展示しております。

- *金沢地区センターの花席には、有志会員が一週間交代で展示。
- *県立金沢文庫花席には、会員が一週間交代で展示。
- *金沢区民活動センター花席(金沢区役所玄関)には、絵画・写真・書道・文芸・街の先生、華道の各部門の方々と分担して、約2か月に一週間展示。
- *旧川合玉堂邸には、毎月一般公開される第一土曜日に楚々とした「花は野にあるごとく」を心して展示。



富山六郎重保公廟所清掃

富山六郎重保公の命日は6月22日です。毎年、その前に、廟所の除草等の清掃を行っています。年1回では、雑草が1メートル余りに伸び過ぎて見苦しいので、昨年は6月20日と12月8日の2回、清掃を行いました。廟所の場所は、白山道トンネルを六浦側から金利谷南へ抜けて直ぐの右手の奥まった山裾にあります。歴史散策には格好の雰囲気有する場所です。是非、お越しを。



親と子の「能の魅力体験講座」

part 10

平成24年1月22日、「能と狂言は仲良し兄弟」と言うタイトルで、子供41名、大人68名の参加で行われました。講師には「称名寺新能」演者シテ方春流、櫻間右陣先生、狂言方大蔵流、善竹富太郎先生をお迎えしました。同じしぐさを能と狂言の演じ方の違いや共通点について実演を交え、解説をして頂き、体験コーナーでは参加した殆どの子供達が舞台上上がり、能の謡、仕舞に触れ、後半では狂言の体験も出来、大人も子供も大きな口を開けて笑い方を習ったり、舞台上腰を屈めて歩いてみたり楽しい時間を過ごし、子供達が真剣に取り組んでいる姿は微笑ましく思われました。また金沢区ゆかりの能「放下僧」の小謡を先生方が同時に舞ってくださり、大変貴重な舞台を拝見できました。5月6日の「称名寺新能」には、今年も大勢の子供達が参加希望しましたので大変楽しみです。



“歴史と文化の薫る街づくり!!”

活動部門

- ◎総合文化部 ◎絵画部 ◎書道部 ◎写真部 ◎手工芸部 ◎文芸部
- ◎歴史部 ◎楽器部 ◎合唱部 ◎声楽部 ◎邦楽部 ◎吟剣詩舞部
- ◎華道部 ◎茶道部 ◎郷土芸能部 ◎謡曲部 ◎民謡民舞部 ◎陶芸部
- ◎邦舞部 ◎洋舞部 ◎朗読部 ◎武道部 ◎児童文化部 ◎一般文化部

事業助成

横浜金沢文化協会の個人または団体が行う行事で、当協会の共催または後援が必要な場合は、申請書の審査により、**名義使用の許可及び資金援助**を、年1回限りで行っています。

年会費

- 個人 2,000円
- 団体 7,500円(会員25人以下)
- 10,500円(会員26人~50人)
- 15,000円(会員51人以上)
- ※入会金なし

問合せ先

NPO法人横浜金沢文化協会
事務局長 坂(ばん)直孝
電話 045-785-6722

NPO法人 横浜金沢文化協会 会員を募集中!!

当協会は、金沢文庫を創設し我が国の学術振興を図った北条実時を追慕し、武蔵国金沢以来の伝統をひまえ、次世代を展望しつつボランティア精神をもって、地域文化振興の中核となる事業を行い、各種の文化活動を通じて、地域文化の総合的發展に寄与することを目的(設立の志)としています。

~金沢区に文化センターを!!~

出前文化教室の現状

◎KANASUI(かなすい)演奏会

デイケアセンターの高齢者向けの出前に専念。日曜日の昼に楽器車で行き、約30分の吹奏楽の生演奏。民謡をはじめスタンダードなジャズ、舟木一夫や美空ひばりにザ・ピーナッツと来れば、往年のモボやモガの皆様から拍手喝采! 土日でしたら、幼稚園や小学校等でも楽しい演奏会を開催します。ぜひ、お気軽にご相談下さい。

(金沢吹奏楽団・寺田早苗 TEL070-5547-2242)



◎和楽器体験学習

金沢三曲会では、例年、箏(こと)・三絃・尺八を持って区内の小・中学校を訪問し、和楽器体験学習のお手伝いをしております。平成8年から現在まで、延べ250校ほどになります。申込みをお待ちしています。

(金沢三曲会・佐野史瑞子 TEL781-1483)



◎お話し会

児童文化部では、定期的なものとしては、六浦小学校で1~2年生全8クラスに各1時限ずつ毎月8回、西柴学童保育所で毎月1回、金沢地区センターで未就学児母子に隔月、西柴中学校で3年生の絵本講座を年10回、子育て支援所で毎月1回など、朗読・お話など活躍中です。

(児童文化部・氏家總子 TEL783-3962)

代々継承して今日に到っています。父のあとを継いで早や20年ちかくなりますが、伝統の継承は、絶え間ない活性化があつて可能なことで、さまざまな工夫のなかで月日は瞬時に過ぎてしまった感があります。ことに金沢区は歴史と文化の重要性の高い地域ですので、文化協会の皆様とも、一層の連携をさせていただきたく、ご挨拶いたします。



顧問 佐野 和史
江戸時代、瀬戸神社には千葉家・佐野家ほか数軒の社家がありました。明治維新以降、佐野家が

金沢区の住民となりました。富岡小、金沢中のOBでもあります。大学卒業後、横浜市役所に入り、金沢区長、消防局長などを務めて退職し、現在は横浜スタジアムに勤務。海と緑と歴史に育まれた地に住まう喜びと幸せを感じながら、暇を見つけてはカメラ片手に区内を散策しております。今後ともご指導の程よろしくお願いたします。



顧問 橘川 和夫
生まれは南区大岡。3歳頃から富岡東に住み、結婚後、金沢区を離れましたが、平成6年から再び

新顧問紹介

文化協会行事予定(日程順)

Table of cultural association events with columns for date, event name, location, and phone number.



顧問名簿

(五十音順)

Table of advisors with columns for name, surname, and affiliation.

個人会員紹介



茶道部 五味 宗圭 「金沢文化協会」の創立よりご縁を頂き、金沢茶道会を通じ「冷泉貴美子氏講演会」の接遇や、旧博文別邸、旧玉堂別邸の野点に携わり、区制40・50・60周年に協力致しました。



日本舞踊連盟 坂東 寿次 東京は品川生まれの私、30数年前、自然に恵まれた金沢区に移住して来て現在、は、幸せを感じています。



絵画部 枇杷橋 和廣 世にいう昭和一桁生れで、学業で離れた数年間を除き磯子区で過ごし、縁あって金沢区に移り住んで20数年になります。



邦楽部(箏曲) 山田 岡照雅 弦楽器に魅せられ、高等学校卒業後、近所の箏曲山田流の先生に指導を受け、半世紀近くになります。

ただ、大都市・横浜に歌舞伎のできる劇場がないことを知りショックでした。文化協会に入り諸先生方が文化ホール設立に真剣に取り組んでおられることを知り心強く感じています。今後とも、舞台を通じて、皆様の活動に少しでもお役に立てればと思いますので、ご指導のほどお願い致します。

和53年に金沢三曲会が発足し、同時に入会し現在は、理事を引き受けています。三曲会は平成8年より区内の小中学校へ、体験学習の出前授業を行っており、依頼があれば、楽器を持参して行きます。体験した子供達の目の輝きが楽しみです。日本古来の伝統文化芸能が、若い人々に伝承される事を願っています。

編集後記

会員の皆様への寒さにもめげず、暑さにもめげずに、ご活躍された成果を、本紙にまとめました。今後益々のご活躍を期待しますとともに皆様のご健勝とご清栄を祈念いたします。

編集委員

- 一之瀬 炯次・氏家 總子・榎本あけみ・小櫃 健一・後藤 政也・佐野史瑞子・白井 俊一・鈴木 稔・田宮 初重・野中 建吾・坂 直孝・森川 淳子 (五十音順)